

砂防堰堤が人家、人命を守る (長野県須坂市)

事業者：長野県

災害時に効果を発揮した3か年緊急対策の事例



対策名：No.6 中小河川緊急治水対策プロジェクト（土砂・流木対策）

事業名：防災・安全交付金（通常砂防事業）

- ポイント**
- 3か年緊急対策により砂防堰堤の整備を前倒し実施
 - 家屋や公共施設を土砂・流木の流出による被害から保全

地域の概要・課題

福沢は下流の氾濫域に多数の家屋や公共施設を抱える渓流です。

渓流内は荒廃が進んでおり、土石流等が発生した場合には土砂・流木の流出により、多数の家屋や公共施設などの保全対象に被害が発生する危険があります。

事業の概要

渓流内の荒廃が進み、土砂・流木の流出防止対策が必要な渓流であり、多数の家屋や公共施設を土砂・流木の流出による被害から保全するため、土砂・流木捕捉効果の高い砂防堰堤の整備を3か年緊急対策として実施しました。

効果

令和元年東日本台風では、連続雨量312mm、時間最大降水量31mmを観測しました。

令和元年東日本台風により土石流が発生しましたが、砂防堰堤が整備されており土砂及び流木を捕捉し、下流地区への被害を未然に防止し効果を発揮しました。

